

月刊
 2014年(平成26年)
 4月 Vol.167
 大阪府議会議員 活動報告書

1997年6月創刊
 1997年6月~9月:週刊
 1997年10月~:月刊
 発行部数累計:1,891,137部

※ この報告書「3月号」は、3月に阪南市内で新聞折込を致しました。

OSAKAしごとフィールド
就職活動／中小企業の採用・人材育成サポート

就職活動や中小企業の採用・人材育成をサポートするために、「OSAKAしごとフィールド」が開設されています。

この4月21日(月)からは、新たに、「女性」の就業機

会拡大と「障がい者」雇用の拡大のため、「働くママ応援コーナー」と「ハートフルカフェ」が開設されました。

ご活用下さい。

OSAKAしごとフィールド
 〒540-0031 大阪市中央区北浜東3-14 電話:06-4794-9198
 ホームページ: <http://shigotofield.jp/>

ただいま活動中!
土井達也
 はっきりの発言!
 ひっかき報告!

大阪府議会議員
 商工労働常任委員会
 府議会 大阪維新の会
 副政調会長

土井達也Webサイト
<http://www.tdoi.net/101582人>

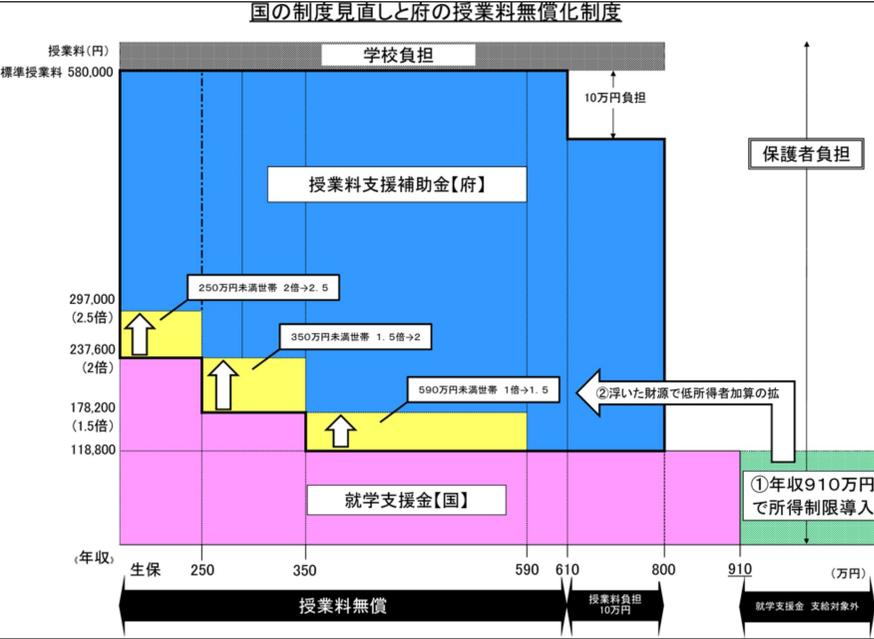
執筆・印刷:土井達也事務所
 住所:〒599-0201 大阪府阪南市尾崎町93-6尾崎山手ビル2F
 TEL:072-471-7357
 FAX:072-471-8004
 E-Mail:t.doi@nifty.com

私立高校 授業料無償化

大阪府の授業料無償化制度は、国の就学支援金制度に上乗せする形で、平成23年度の新入生から拡充実施しています。

在校生と平成26、27年度の新入生は、卒業までの3年間、年収めやす610万円未満世帯は無償、年収めやす800万円未満世帯は年額10万円負担となるように制度を実施します。

また、平成28年度以降の私立高校の入学生に対する授業料支援については、**現行制度の効果検証**を行いながら、**制度のあり方を検討**することとなっています。



OTK問題 知事の府政演説から

※平成25年12月時点での状況は、年末に新聞折込をした報告書(土井達也ただいま活動中!12月号Vol163)参照。ホームページにも掲載。

大阪府都市開発株式会社(OTK)株式の売却については、昨年の9月定例府議会での、株式会社ローン・スター・ジャパン・アクイジションズへの株式売却否決を受け、前提条件を見直した上での再公募、随意契約の方法についてそれぞれの課題の検討を重ねてまいりました。

再公募は、透明性という点ではすぐれているものの、9月定例府議会での議論を前提とした条件変更を行った場合より価格が下がることが予想されること、また、再公募にあたっては改めてデューデリジェンスをし直すなど、相当の時間を要し、その間の経済環境の変化のリスクもあることから、この方法を採用しないこととしました。

また、価格とサービスについて、南海電気鉄道株式会社から公募時を上回る案が示されたことから、同社と随意契約することといたしました。

その内容は、①売却価格は750億円を基本とする。②乗り継ぎ運賃については、一律80円の値下げを行い、その他のサービス向上策は公募時の案を維持する。③転売禁止期間は15年とする。

以上の内容で、今後南海と協議・調整を進め、26年度のできるだけ早い段階でOTK株式の売却に係る議案を提出いたします。

乳幼児医療費への助成

阪南市議時代からの懸案事項でした。当時の成子市長(故)は、大阪府が年齢を引き上げれば、阪南市も上げ

上げると答弁されていました。あれから、14年ですね。ずいぶんとかかりました。大阪維新の会の代表質問に対する知事の答弁を掲載します。私にとっては、記念すべき答弁です。

乳幼児医療費助成を含む福祉医療費助成制度については、これまで、市町村と共同で設置している研究会において、検討を重ねてきた。その中で、特に、乳幼児医療費助成制度については、市町村をはじめ各方面からの要望も多く、**平成27年度から、そのための市町村支援を拡充**したいと考えている。

今後、この研究会で整理された経緯も踏まえ、所得制限など医療のセーフティネットとしての範囲や、子育て支援施策の充実につながる市町村への支援のあり方などについて、早期に結論が出せるよう、市町村とともに検討を進めてまいりたい。

大阪湾の産業廃棄物 広域処理場

「大阪湾フェニックス計画」は、近畿2府4県168市町村の圏域から発生した一般廃棄物や上下水汚泥、民間事業者の産業廃棄物等を大阪湾に埋立て、出来上がった新たな埋立地を、港湾施設として整備を図ることを目的とする計画。

昭和60年、国により基本計画の認可を受け、平成2年にまず尼崎沖埋立処分場が受入を開始。その後、泉大津沖、神戸沖、大阪沖の合計4つの埋立処分場を整備し、市町村からの一般廃棄物や事業者からの産業廃棄物などを受入れてきました。

そして現在、1期事業の尼崎沖、泉大津沖の埋立処分場での受入がほぼ終了、2期事業として実施している神戸沖が平成34年、大阪沖が平成39年に、それぞれ受入れが終了する見込みとなっています。

このフェニックス計画では、自然災害や突発的な事故にも対応できるよう、危機管理のために、2処分場体制が基本。そのため、平成35年以降のあり方が課題。

一般的には、計画立案から廃棄物の受入れ開始までに、法手続きや護岸工事などで10年ほどかかるため、スケジュール的にはもう待たなし。大阪維新の会の代表質問に対する知事の答弁を掲載します。

大阪、関西の成長のためには、広域処理場を引き続き確保していくことが不可欠であるので、次期フェニックス計画について、**圏域の関係自治体との議論を、平成26年度冒頭から本格的にスタート**させ、そのコンセンサスを図った上で、国と精力的に協議を行っていく。

大阪府（阪南市域、男里川・支流山中川周辺、大阪湾）に影響のある和歌山県（和歌山市滝畑・上黒谷地域）の県内最大の民間産業廃棄物最終処分場建設に関する知事要望と意見交換会

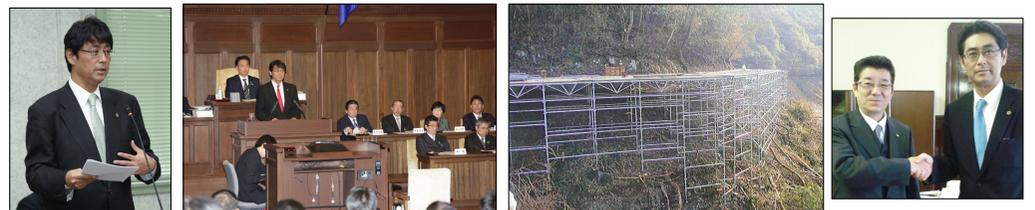


4月13日に、緑が丘住民センターにおきまして、和歌山産廃処分場建設に関する意見交換会を開催しました。頂戴しましたご意見等、5月定例会一般質問に反映させて頂きます。これに先立ち、知事要望も行いました。

要望書原文や意見交換会のすべての資料等は、ホームページに掲載していますので、ご覧下さい。

また、ご意見等ございましたら、メール（t.doi@nifty.com）もご活用下さい。

ホームページ <http://www.tdoi.net>



大阪維新の会を代表しての討論や委員会質問の動画、阪南市内で行われた大阪府の事業などなど、掲載しています。ご確認の程、宜しくお願いします。ホームページは、www.tdoi.net です。

来月号は、「選挙区の区割」について、詳細に述べたいと思います。